



## 北アフリカ地域ニュース

### エジプト：カイロ市内における爆発事件

(2月23日付現地各紙)

#### 1. 内務省発表

22日午後6時50分頃、フセインモスクに面した広場で爆発事件が発生した。爆発により、フランス人14名、ドイツ人1名、サウジアラビア人3名、エジプト人4名が負傷し、うちフランス人女性1名が怪我により死亡した。

#### 2. ムバラク大統領及び政府の反応

ムバラク大統領は、爆発事件をフォローアップし、負傷者に万全の治療を施すように指示した。ナズィーフ首相は、事件発生後直ちに現場に急行したアドリー内相とアル・ガバリー保健・人口相は、ともに捜査指揮にあっている。治安当局は現在3名の容疑者を逮捕し、現在取り調べ中(23日午後11時のアル・ジャジーラニュース)

#### 3. 野党の反応

ムスリム同胞団系議員団は、今回の事件について犯罪行為を非難する。どのような理由、目的があってもこのような暴力行為は許されない。政府当局に対し、本事件の背後に存在する人物の割出しと当該人物の公式な法廷へ訴追を要求する。

#### 4. フランスの反応

サルコジ大統領は、エジプト政府への完全な支持を表明し、事件の被害者に対し、エジプト政府があらゆる支援を行い、真相究明にむけて努力することを信じていると述べた。また大統領府は、22日、爆発で死亡した仏人観光客に対し、深い弔意を表明した。フィヨン首相、クシュネール外相とともに爆発事件を非難し、エジプト政府への連帯を表明した。